

小学校・第2学年・生活科・まちたんけん①

育成を目指す資質・能力

静岡市提供

○地域の良さや特徴、自然、人の様子などに触れ、気付いたことをまとめ、伝える活動を通して、地域に対して親しみや愛着をもつ。日常生活において、様々な人たちに適切に接したり安全に生活したりしようとする。

ICT活用のポイント

- 地域の自然や公共施設、暮らしている人の様子を記録する。【カメラ機能（静止画）】
- インタビュー時に動画で記録し、下校後に再確認したり、発表資料に活用したりする。【カメラ機能（動画）】
- ※時間・スキルの課題がある場合、下記活動は、プレゼンテーションソフトでの編集はせず、画像ビューアを活用する。
- 事前に収集した発表会へ向けた発表補助資料を選択し、グループ間で発表や意見交換を行う。
【画像ビューア・プレゼンテーションソフト等】
- アドバイスをもとに発表内容を修正し、地域・保護者へ向けた発表を行う。【画像ビューア・プレゼンテーションソフト等】

①地域調べ・インタビュー活動

【カメラ機能活用】

②記録データから気付きの記録

【画像ビューア（静止画・動画データ）活用】

③発表内容検討・意見交換

【画像ビューア・プレゼンテーションソフト活用】

④資料修正・発表会の開催

【画像ビューア・プレゼンテーションソフト活用】

事例の概要

①地域調べ・インタビュー活動

学級を2グループに分け、グループごとに地域の方へのインタビューや地域の様々な箇所の撮影・情報収集等を行う。データは発表の補助資料に活用する。

②記録データから気付きの記録

各グループでの気付きについて説明するためのインタビュー動画や静止画を選択する。画像ビューア内を用いて、各画像で注目させたいポイントについて入力する。データの確認・編集を通して、気付きの広がりや深まりにつながるよう支援する。

③発表内容検討・意見交換

グループごとに発表し合う。気付いた地域の良さが伝わったかを意見交換する。発表内容（説明の仕方や画像等の使い方等）を再検討する。

④資料修正・発表会の開催

交流後、他のグループからのアドバイス、データ等を再確認し、発表の内容・補助資料の修正を行う。後日、地域・保護者へ向けて発表会を開催する。

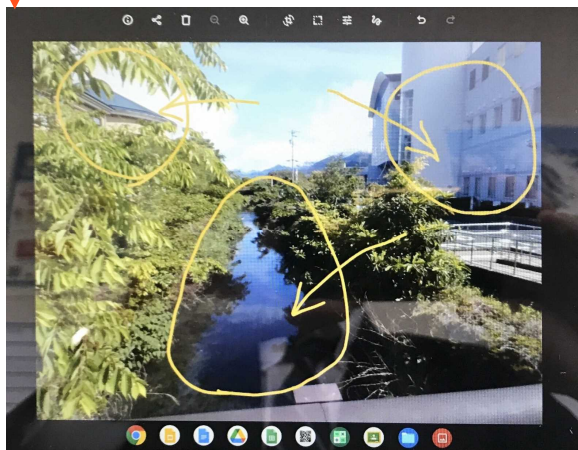
小学校・第2学年・生活科・まちたんけん②

【地域調べ・インタビュー活動】



各児童がICT端末を持ち、素敵な場所・人等を撮影する。インタビューの場面では、話す役・動画撮影する役を分担する。

【記録データから、気づきの記録・簡易編集】



撮影してきたデータをもとに発表内容を検討する。また、画像ビューア内で簡易な画像編集を行う。(発表に使用するデータのみにする。)

【グループ間発表・修正・発表会の開催】



交流後入力データをもとに各自発表資料の修正を行う。交流の経験をいかし、発表会を行う。

1 ICTを効果的に活用するためのポイント

(1)地域調べ・インタビュー活動

インタビュー時に、各端末のカメラ（静止画・動画）で記録を行う。その後の授業内で話の内容等の確認が可能になる。地域地図は印刷した画像を張り付ける形で行う。（使用目的によってICT活用の有無を判断）

(2)記録データから、気づきの記録・簡易編集

ICTスキルによって、編集方法を選択する。プレゼンテーションソフトの操作が困難な場合は、画像ビューア内で編集し、発表資料とする。

(3)交流後、資料修正、発表会の実施

グループ間で発表をし合い、話し方・データの提示の仕方等、より伝わりやすくするための意見交換を行う。最終的に地域・保護者等を対象に発表会を行う。

2 児童生徒や教師にとってのICT活用のメリット

小学校1・2年段階におけるICT活用としては、時間的・操作的負担が伴わない形での活用としたい。そのため、複数のソフトを使用したり、プレゼンテーションソフト内でのデータ貼り付けや保存等のスキルが十分に身に付いていない場合は、画像ビューア内での編集・発表資料としての提示であればICT活用にかかる負担が軽減できる。

また、デジタル化するものと紙媒体で行うものについて、目的に応じてICT活用の有無を判断する必要がある。

【活用したソフトや機能】

カメラ機能・プレゼンテーションソフト（必要に応じて）